

2.各品目部会における活動概要 平成27年度林産物部会における活動概要

林産物部会

【平成27年度輸出拡大方針の概要】

林産物[※]のオールジャパンでの輸出拡大に向けて、林産物輸出の全国団体が、農林水産省、林野庁及びJETROからの各種支援等を活用し、林産物の海外における新たな需要を開拓するための調査を実施するとともに、産地間連携体制の構築を推進するほか、海外におけるジャパン・ブランドの確立を目的として、付加価値をつけた日本産木材製品や木造軸組住宅のPR等の実施、中国の木構造設計規範への対応などの輸出環境整備に取り組む。

※ ここで言う林産物は、丸太及び木材製品を指す。

【主な実施主体】 日本木材輸出振興協会、農林水産省、JETRO

【平成27年度の主な活動内容】

<PR>

- ・中国向け「日本産木材利用手引」(Ver.3)の改定配布、セミナー・研修会の開催により、日本産木材の特性、利用方法を専門家・事業者に周知(上海、北京、ソウル)
- ・6月の上海博覧会でジャパン・パビリオンを設置し、2万5千人の専門業者が来場。日本産木材の知名度も 向上してきている。
- ・広告掲載: 木材関係専門誌へのカラー広告、企画記事の掲載。木材業界向けウェブサイトでの動画広告を配信。
- ・中国大連に日本産スギ・ヒノキ等を用いた軸組モデル住宅を建築。
- ・韓国のキョンヒャンハウジングフェア2015及び2016にジャパンパビリオンを出展。

<調査>

- ・中国の研究機関等と協力し、中国における主要輸入木材のニーズ・用途について調査。

<国内体制整備>

- ・産地間連携に向けた検討会を全国各地で開催。

<輸出環境整備>

- ・中国の木構造設計規範: 木構造設計手引改編に向け、国内検討委員会、中国との意見交換・協議会を実施。



2.各品目部会における活動概要

林産物部会での野村総研の調査・検討事項

※調査・検討結果については「【別紙】野村総研の調査・検討結果資料」をご参照ください

No	調査名称	背景・目的	調査内容として盛り込むべき事項		
			対象国・対象団体	調査のポイント	主な関連過去調査
1	国内くん蒸の現状把握	<ul style="list-style-type: none"> 丸太は中国への木材輸出額のうち約54%を占める重要な品目である。現在、為替の影響もあり、日本の丸太輸出額は増加しているが、依然としてロシア等と比べれば高価格であり、日本の丸太輸出において、低コスト化は継続的に検討すべき項目である。 昨年度の検討結果より、丸太輸出にかかるコストのうち、植物検疫におけるくん蒸コストの低減が論点に挙げられている。ロシア・アラスカ・カナダ等は寒冷地・同生態系・施設の有無等の理由で中国でのくん蒸が許可されており、日本産原木が同様な緩和措置の対象となりえるかどうか現状を把握し、検討を行う必要がある。 また、今年度第一回部会では、港湾でのくん蒸処理が必要に迫りつつおらず、丸太輸出が滞ってしまうと指摘があった。そのため、輸出量増加、及びコストの低減の2つの観点で、国内でのくん蒸処理の現状把握を行い、合わせて中国におけるくん蒸の現状把握を行う。 	日本、中国	<ul style="list-style-type: none"> 国内でのくん蒸の実態を公開情報・ヒアリングを中心に調査し、低コスト実現のためには何が課題で、どのような打ち手が考えられるか、またそれぞれ実現可能性はどうか等の検討を行う。 中国輸入原木規定や中国におけるくん蒸の現状、他国の先行事例を既存文献をもとに整理し、日本が例外規定となりえるかどうか検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 北米の対中国木材輸出の取組（日本木材総合情報センター：平成19年3月） 中国木材検疫の実態（日本木材総合情報センター：平成20年3月） 中国の基準とニーズに対応した国産材輸出仕様の開発（日本木材輸出振興協議会：平成22年3月） 中国「木構造設計規範」における日本産木材の利用同等性の確立（日本木材輸出振興協議会：平成23年3月） 中国における日本産木材の利用実態調査（日本木材輸出振興協会：平成25年12月）
2	中国におけるくん蒸の現状把握				

2.各品目部会における活動概要

林産物部会 スケジュール

- 「平成27年度輸出戦略実行事業 林産物部会」の全体スケジュールは下記の通り。

平成27年 6月16日（月）	第1回部会 <ul style="list-style-type: none">・平成27年度取組事項の検討<ul style="list-style-type: none">-部会の進め方・平成27年度輸出拡大方針に基づく取組状況の検証<ul style="list-style-type: none">-活動内容報告、活動結果に関する検証・輸出環境課題（現状と課題）
9月17日（木）	第2回部会 <ul style="list-style-type: none">・平成27年度輸出拡大方針に基づく取組状況の検証（現場との意見交換を踏まえて）<ul style="list-style-type: none">-地方ブロック意見交換会の報告-取組内容報告、取組に関する検証-28年度の輸出拡大に向けた検討・輸出環境課題（各項目の取組状況）
1月20日（水）	第3回部会 <ul style="list-style-type: none">・平成27年度取組事項、検証の最終報告・平成28年度の輸出拡大に向けた検討<ul style="list-style-type: none">-活動内容報告、活動内容の検証、28年度の輸出拡大に向けた検討・輸出環境課題（まとめ）

2.各品目部会における活動概要

林産物部会 委員一覧

【委員】

- 井上幹博 一般社団法人 日本木材輸出振興協会 事務局長
- 角谷享是 阪和興業株式会社 木材部国際開発課 課長
- 久津輪光一 池見林産工業株式会社 代表取締役社長
- 島田泰助 一般社団法人 全国木材組合連合会 副会長
- 神宮靖範 一般社団法人 日本木造住宅産業協会 技術開発部長
- 鈴木 淳 ナイス株式会社 資材事業本部 副本部長
- 堂園 司 宮崎県・鹿児島県木材輸出戦略協議会 会長
- 富山 洋 全国森林組合連合会 参事兼系統事業部長
- 豊田康雄 伊藤忠建材株式会社 木材貿易事業部 事業部長
- 中島 潔 独立行政法人 日本貿易振興機構
農林水産・食品部農林産品支援課長
- 平田俊次 ミサワホーム株式会社 代表取締役 専務執行役員
- 山口秋生 越井木材工業株式会社 技術開発室 室長
- 山本稔之 住友林業株式会社 国際流通営業部 原木グループ
グループマネージャー

【省庁側】

- 角屋竜雄 農林水産省 消費・安全局 植物防疫課 課長補佐
- 鈴木清史 農林水産省 林野庁 林政部 木材産業課 課長補佐
- 志間俊弘 農林水産省 林野庁 林政部 木材利用課 企画官
- 山田英也 農林水産省 食料産業局 輸出促進課長
- 加藤靖之 農林水産省 食料産業局 輸出促進課 専門官